

県民の生活力向上のためのシンポジウム

生涯を通じて豊かで安心した生活の確保を考える

シンポジウムは、今年度実施している県民生活力育成支援事業の県民の方がたへの啓発活動の一環として2月4日、県庁講堂で県内外の福祉、保健、医療等の関係者650人の参加のもと、基調報告、モデル事業実施の紹介、パネルディスカッションが行われ、参加者に貴重な資料を提供できました。



主催者あいさつ(要旨) 県社会福祉協議会会長 今吉 弘

「100年に1度」とも言われる世界的な金融危機に端を発した大きな不況の影響で、失業者や生活の困窮者を数多く生み出しており、最後のセーフティネットである「生活保護」に頼らざるを得ない方がたが、著しく増加してきています。

このような情勢のもと、県では生涯を通じて、健康で豊かな充実した生活を営むための力を「生活力」という概念でとらえ、生活力の要素、悪化する要因の分析を行い、県民の皆様お一人おひとりが持つ「生活力」を向上させることで困窮状態になることを予防できないかという観点から、「生活力育成支援事業」を立ち上げられました。

この事業は厚生労働省の支援を受け、全国的にも初めての事業、唯一の事業として、位置づけられ実施に至ったものです。

「生活力育成支援事業」では、県が平成18年度と19年度に「県民の生活力向上のための調査」を実施し、この調査を踏まえ、20年度に県社協とNPO法人等との協働による、いじめ・不登校に苦しむ子どもたちへのサポートや引きこもり若者の社会参加支援、高校受験へ向けた学習指導の3つのモデル事業を実施いたしました。

今回のシンポジウムでは、これまでの調査結果やモデル事業の実施状況を報告するとともに、ライフステージごとの問題点・課題について整理し、豊かで安心した生活の確保するために取り組むべき行政、県民の役割、また、県・市町村や国の施策への提言・要望について、県民の方がたと一緒に考えていただくことを目的に開催しました。

私ども県社協も、県民生活力向上のため課題解決に少しでも寄与できるよう諸方策を検討し、努力してまいります。

シンポジウムのプログラム



吉田委員長



郡山副委員長

1 基調報告

- (1) 県民生活力向上検討委員会委員長 吉田 紀子 氏 (鹿児島県参与)
(県民生活力育成支援事業着手の経緯、事業の目的・内容の紹介等)
- (2) 県民生活力向上検討委員会副委員長 郡山 千早 氏 (鹿児島大学・大学院准教授)
(「県民の生活力向上のための調査」分析結果報告と活用方法等)

2 モデル事業実施の紹介(ビデオ上映)

3 パネルディスカッション

- コーディネーター 県民生活力向上検討委員会委員長
- アドバイザー 県民生活力向上検討委員会副委員長
- パネリスト

- 鹿児島県民生委員児童委員協議会理事 桐原恵美子 氏
- NPO法人・チャレンジドサポート奄美理事長 向井 扶美 氏
(モデル事業実施：いじめ・不登校等サポート事業)
- NPO法人・麻姑の手村理事長 卓間 光哉 氏
(モデル事業実施：引きこもり若者の社会参加支援事業)
- かごしま教育支援協会会長 徳留 淳善 氏
(モデル事業実施：高校修学支援事業)
- 鹿児島県精神保健福祉センター所長 富永 秀文 氏

